

平成 30 年度滋賀県がん診療連携協議会・第 2 回研修推進部会 議事概要

日 時 平成 30 年 10 月 3 日 (水) 18 時 00 分～18 時 55 分
場 所 滋賀医科大学医学部附属病院 4 階 第 4 会議室
出席者 村田喜代史 (滋賀医科大学医学部附属病院)
片倉浩理 (大津赤十字病院)
財間正純 (滋賀県立総合病院)
多川晴美 (滋賀医科大学医学部附属病院)
北川久美 (大津赤十字病院)
小野原明子 (滋賀県立総合病院)
木下千恵美 (彦根市立病院)
田久保康隆 (市立長浜病院)
山岸美紀 (市立長浜病院)
澤井奈奈江 (高島市民病院)
高見史朗 (市立大津市民病院)
鴨井和実 (済生会滋賀県病院)
馬場弘道 (長浜赤十字病院)
目片英治 (東近江総合医療センター)
高山真一 (滋賀県歯科医師会)
平田誠 (滋賀県放射線技師会)
松井まり子 (滋賀県臨床検査技師会)
玉井文子 (滋賀県歯科衛生士会)
鈴木真理 (滋賀県栄養士会)
野坂明子 (滋賀県健康医療福祉部)
川邊義巳 (滋賀県立総合病院)
欠席者 山崎道夫 (公立甲賀病院)
藤本紀子 (公立甲賀病院)
吉川浩平 (彦根市立病院)
武田佳久 (高島市民病院)
小林遊 (草津総合病院)
中野且敬 (近江八幡市立総合医療センター)
中村隆志 (滋賀県医師会)
小杉奈緒 (滋賀県薬剤師会)
三上房枝 (滋賀県看護協会)
寺田智祐 (滋賀県病院薬剤師会)

オブザーバー 菊井津多子、柳田英代、岩本香奈 (滋賀県がん患者団体連絡協議会)

(敬称略)

1. 報告

部会長から、前回欠席の新規部会員の紹介があり、自己紹介があった。

済生会滋賀県病院 鴨井 和実 ロボット手術センター長兼前立腺局所療法センター長
東近江総合医療センター 目片 英治 副院長

また、がん患者団体連絡協議会からオブザーバーとして3名の方々に参加していただいていることの紹介があった。

前回の部会（平成30年6月4日開催）の議事概要に沿って内容の確認があり、ご意見等があれば事務局までご連絡いただきたいとの依頼があった。

2. 議題

(1) 平成30年度の取組について

1) がん関係フォーラム、講演会等開催予定、受講人数について（資料1-1～3）

（大津）回数的には少し減少したものの、がん種別や対象者別でもバランスが取れており、着実に実施できている。

（湖南）5大がんの中では、肝がん以外は実施できている。今後は、もう少しバランスを考えていきたい。

（東近江）臓器別の記載はないが、滋賀医科大学・東近江総合医療センター・近江八幡市立総合医療センターの3病院共催で年度内に2回のフォーラムの開催を予定している。多職種での研修会の企画を計画している。

（湖東）大腸がん、乳がんについては開催しているが、その他について検討の余地があると考えている。今年度は就労支援に力を入れており、月一度、滋賀県産業保険総合支援センターの協力のもと相談会を開催している。

（湖北）医療者向けが少ないものの、7月22日に長浜赤十字病院と市立長浜病院の合同で肺がんや消化器系がんを集約し開催している。後半も研修を計画しているところである。

（湖西）資料には間に合っていないが、7月に緩和ケアの市民公開講座を開催しており、今後は、妊孕性の研修会を予定している。中学校へのがん教育講座での講師や、共催として、がん教室で市民の方々と考える時間を持っている。

部会長から、資料1-2より、どの研修会等も満足度が高く、当初の目標どおり参加者数も順調に伸びており、内容的にも十分なものが開催されているのではないかとこの補足があった。「PDCAサイクル」の評価項目でもある参加者数や満足度をできる限りチェックしていただき、今後も研修会や講演会の計画実施を続けてほしいとの依頼があった。

また、講演会等の情報は毎月「がん情報しが」に掲載しているので、更新された情報等が有り次第、引き続き提供いただくよう依頼があった。

2) 看護ワーキングが行うがん看護研修の実施について（資料2）

多川委員から、資料2より、6月から滋賀医科大学、大津赤十字病院で「がん看護研修（基礎編）」を実施しており、12月16日に終了予定で、また、今年度最終となる「がん看護研修Ⅱ」に

については、11月2日から2月4日のうちの9日間の実習予定であるとの説明があった。他に「地域におけるがん化学療法看護研修」と「せん妄ケア研修会」を県立総合病院で開催予定であり、着実に継続的に行っている、との報告があった。

今後は、新たに看護協会のクリニカルラダーに基づいて、「基礎編」「実践編」等を積み重ねて計画実行していく予定であるとの説明があった。

3) 臨床検査技師の人材育成～がん対策関連～(資料3)

部会長より、本部会で人材育成についても取り上げていくこととなり、今回は臨床検査技師会から報告していただく旨の説明があった。

滋賀県臨床検査技師会の中の学術部と精度管理部が主に人材育成に関わる部署となり、さまざまな部門別の勉強会等を開催しているとの報告があった。

部会長から、がんに関する資格も取得できるように工夫いただき、順調に有資格者数の増加がみられるとの説明があり、また、医療圏ごとの技術に関する均てん化の状況について質問があった。

これに対し、正解率が悪いところについては、次回の研修会で議論や勉強を重ねているとの説明があった。

4) 国立がん研究センターの受講調整について(資料4-1、2)

滋賀県の推薦が必要な研修について調整を行い平成31年度までは決定しているが、平成32年度以降についてどうするか検討した。

部会長より、研修計画(予定)では「がん診療連携拠点病院」の医療従事者を優先するとなっているが、次回の部会(第3回)の開催前に希望する病院を募り、第3回の部会で決定してはどうかとの提案があり、了承された。

資料4-2を参考に、各施設で必要要件等確認し申込みをお願いしたいとの依頼があった。

5) 各団体の取り組みについて(資料5)

各団体の平成30年度取組予定について報告があった。

(滋賀県歯科医師会)

平成30年3月から、「口腔がんチェック事業」として、会員の約3分の1の129医院でスタートしており、ホームページにて公開し、最寄りの医院が検索できる。今年度は対象医院にステッカーを配布することとし、また、2月にシンポジウムを開催して、引き続きがん患者の口腔ケアに係る医科歯科連携を推進していく。

(滋賀県放射線技師会)

直近では、おおつ健康フェスティバルへ参加予定で、パネル展示や相談コーナー等を設け、一般の方へのがん等放射線に関する啓蒙活動する予定となっている。また、臨床検査技師会と共催で市民公開講座として、1月に合同研修会を予定している(チラシ参照)。

(滋賀県臨床検査技師会)

各地域で開催される健康フェスティバルへの参加や、主催として「検査と健康展」をイオンモール草津で開催し、がん啓発活動のコーナーを設ける予定である。その他5部門での研修会や、他団体との共催による研修会の開催を予定している。

(滋賀県歯科衛生士会)

研修会等の開催は現状ないものの、4月から新たに算定可能となった「口腔粘膜炎」のエピシルの勉強会を開催した。

(滋賀県栄養士会)

がん専門管理栄養士の資格取得が5名程度であったが今年度は増加している。人材育成となると、日本栄養士会で開催される研修会に参加しているのが実情である。がん専門管理栄養士が滋賀県内で増加することによって滋賀県単位でも、研修会を開催できるのではないかと考えている。

(2) 部門の取組評価(中間評価)について

1) アクションプランについて(資料6)

部会長から、アクションプランで示している事項について9月頃中間評価を行い、年度末に最終評価を行うという流れで、今回は中間評価となる。

事務局側の案としてB評価としている。理由としては、看護師だけでなく薬剤師の人材育成の取り組みについての紹介ができたこと、分野ごとの講演会等の過不足等に関しては継続的に部会で検証し改善策を検討している、講演会やフォーラム等についても、各団体がわかりやすく企画している、がん看護研修については、今年度から新たにグレードアップした内容となっていることがあげられる。

どの項目についても順調に取り組めており、検討した結果、B評価とした。

2) PDCAサイクルについて(資料7)

部会長より、計画(Plan)として、研修会等の参加人数、満足度を数字として掲げている。評価(Check)として、研修会等の内容について医療圏別に集計し検討しており、満足度、参加人数についても数字として高いものになっている、との説明があった。

部会員より、当院では研修会等の評価をアンケート等にて実施しているところであるが、他の施設では空白になっているところがあるため、A評価にするには、参加者数や満足度ももれなく網羅する必要があるのではないかと意見があり、部会長からは、確実に数字等を取っていただくよう依頼があった。

(3) その他

1) 滋賀県より「がん教育専門部会」の開催について(席上配付資料)

滋賀県がん対策推進計画の中でがん教育の推進を定めており、平成25年度に「滋賀県がん対策の推進に関する条例」が施行されて以降がん教育を進めてきたが、がん教育がほとんどの教育機関で実施できているということもあり、がん教育専門部会は平成28年度に発展的解消していた。しかし、外部講師の活用をより進めるために、今年度中に再開することになっている。構成員も教育委員会だけではなく、できればがん診療連携協議会からの推薦等で医療者も委員として参画してほしいと考えており、事務局は滋賀県教育委員会の保健体育課となる。がん教育専門部会で話し合われた内容等については、本部会でも報告する予定である。

部会長から、再開の時期や医療者の推薦数の確認があり、出来れば今年度1~2月、医療者については1~2名程度と考えているが、現在未定であり改めて正式な依頼をするとの説明があった。

部会長からは、正式な依頼があれば実績がある湖北医療圏から委員の選定をしていきたいとの提案があり、了承された。

最後に、がん患者団体連絡協議会から、臨床検査技師会からの報告を聞いて、病理分野はとても大切と感じていたののでしっかりと研修されていることが分かり有難いことであるとの意見を述べられた。

また、がん教育の授業に、外部講師として協議会から3名が2回ずつ6校へ派遣されているが、先日、高島市のマキノ中学校の中学3年生の授業へ行き、成長期の経験や体験は、大きな影響を与えられると実感できた。これからも、外部講師として招聘いただきたいとの意見が述べられた。

【配付資料】

(資料1-1) 平成30年度がん関係フォーラム、講演会等開催予定数

(資料1-2) 平成30年度がん関係フォーラム、講演会等開催予定情報 全体版

(資料1-3) 資料1-1において内容区分が「その他」となっているもの一覧

(資料2) 滋賀県がん診療連携協議会研修推進部会 平成30年度がん看護ワーキンググループ活動報告

(資料3) 臨床検査技師の人材育成～がん対策関連～

(資料4-1) 平成30年度国立がん研究センター 都道府県指導者研修 (県の推薦が必要な研修) 受講所定一覧

(資料4-2) 平成30年度におけるがん対策情報センターの研修計画 (予定)

(資料5) 平成30年度 各団体取組予定

(滋賀県放射線技師会/臨床検査技師会 合同学術研修会 チラシ)

(資料6) 滋賀県がん診療連携協議会アクションプランシート

(資料7) 平成30年度滋賀県がん診療連携協議会 PDCA チェックリスト

(席上配付) 滋賀県がん対策推進協議会組織図

【参考資料】

(参考1) 研修推進部会 部会員名簿

(参考2) 平成30年度滋賀県がん診療連携協議会・第1回研修推進部会 議事概要 (6/4開催分)